

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330441115	児童体育	加藤 彰浩			1	選択	4前期

科目の概要

本科目は四大精神の実践を通し（DP1）、社会的に自立して生きていく上で必要な保育士・幼稚園教諭に関する専門的な知識・技能を身に付け（DP3）、建学の精神をはじめ、社会人基礎力やpisa型学力を習得する（DP5）

。幼児期、児童期の子ども達は動作や運動技能の習得が著しい時期であり、この時期の運動経験によりその後の運動能力に大きな影響を及ぼす。そのため、この時期の子ども達に対して発達段階に応じた適切な運動教材を提供し、様々な運動経験をさせることが保育士および教諭が果たすべき役割である。
この授業では、体育科研究、体育科教育法では扱っていない運動遊びおよび運動を取り上げ、発育発達段階にある幼児期および児童期の子ども達の心身の発育および運動能力の発達について理論的に学び、さらに保育者および教育者として必要な運動遊びや運動の支援・指導方法、留意点を実践を通して実際に経験しながら学び、支援および教育的技術について学ぶ。

学修内容	到達目標
① 児童期の心や身体の発育発達を学ぶ。 ② 児童期の発育発達段階に応じた「運動遊び・運動」の方法を学ぶ。 ③ 児童期の「運動遊び・運動」における効果的な支援や指導方法について学ぶ。	① 児童期の心や身体の発育発達を理解する事が出来る。 ② 児童期の発育発達段階に応じた「運動遊び・運動」の教材を理解することが出来る。 ③ 児童期の「運動遊び・運動」における効果的な支援や指導が出来る。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	毎回の運動に関する方法や技術について、事前に資料をもとに調べてくる。睡眠、食事等生活リズムを整え、自ら積極的に授業に参加する。
	働きかけ力	
	実行力	
考え抜く力	課題発見力	毎回の運動に関する方法や技術について、事前に資料以外をもとに調べてくる。未経験なことや得意なことに対し、積極的に取り組み、試行錯誤の過程を経ながら取り組むことが出来る。
	計画力	
	創造力	各遊びの要素やポイントから、実際の支援・教育場面を想定して、考えることが出来る。
チームで働く力	発信力	授業における疑問や新たな視点に対して積極的に発言し、疑問を解決する。
	傾聴力	他者の考えや意見を聞き、様々な考えや意見があることを理解する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	毎回の提出物を期日までに提出する。時間やルールを守り、他の学習者に迷惑をかけないように授業に参加する事が出来る。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「初等体育授業づくり入門」岩田靖ほか（大修館書店）

参考文献：「幼児期における運動発達と運動遊びの指導 遊びの中で子どもは育つ」杉原隆ほか（ミネルヴァ書房）、
「幼児期運動指針実践ガイド」日本発育発達学会編（杏林書院）

その他：映像等はGoogle Classroomを通じて提示する。

他科目との関連、資格との関連

本授業は、学科専門科目の小学校領域の教科および教科の指導法に関する科目に属しており、小学校の教科教育である体育の内容を「体育科研究」学び、「体育科教育法」で指導方法を学んだ後、教科「体育」の指導をさらにグレードアップするための科目である。

関連資格：小学校教諭

学修上の助言	受講生とのルール
常に子ども達の立場になって考えながら授業を受けることにより、保育者および教育者になった時に役に立つ子どものつまづきや効果的な支援方法を学ぶ事が出来る。	運動を行うのに危険ではない服装、爪、頭髪、アクセサリで受講し、授業に遅刻しない等社会人として相応しい振る舞いをする事。 知識の定着にはNotebookLMを活用すると良い。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
			②		
			③		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
	レポート	50	①	✓	
			②	✓	
③			✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①			
		②	✓		
		③	✓		
学修行動 社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・児童期の発育発達段階を考慮した「運動遊び・運動」の指導ができること。 ・「運動遊び・運動」の各内容の留意点を考慮した支援が出来ること。 ・他者の運動を観察し、良い点、改善点があり、他者に伝え、一緒に考えることが出来ること。 <p>Sは上記3つ全てできる Aは上記のうち2つできる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童期の発育発達段階を考慮した「運動遊び・運動」の指導ポイントを説明できる。 ・「運動遊び・運動」の各内容の留意点を説明することができる。 ・他者の運動を観察し、良い点、改善点をわかることができる。 <p>Bは上記3つ全てできる Cは上記のうち2つできる</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○オリエンテーション ○体育の教材づくりの留意点	講義 (教室)	受講に相応しい態度で授業に臨み、幼児体育の意義と役割を理解している。	(予習) 児童体育の教材の考え方を調べる (復習) 児童体育の教材づくりの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	○小学校体育の教材づくりの考え方について学ぶ。	講義 (教室)	児童の教材づくりのを理解している。	(予習) 体育における教材づくりについて調べる。 (復習) 新たな教材についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	○新体力テスト 「児童の新体力テスト」を体験しながら方法について学ぶ	演習 (体育館)	児童の新体力テストの指導内容および要点を理解している。	(予習) 児童の新体力テストの内容を調べる。 (復習) 児童の体力テストの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○体育におけるICTの活用方法について学ぶ。	演習 (体育館) (オープンエディケーション) STEAM Library 「スポーツにおける動作解析」 https://www.steam-library.go.jp/content/36	体育授業におけるICTの活用方法について理解している。	(予習) 活用できそうなICTの方法(アプリ)を調べる。 (復習) ICTの活用方法をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	○走の運動遊び・陸上運動 「走運動」の知識・技術を身につける。	演習 (体育館)	効率的な走り方の指導内容および要点を理解している。	(予習) 効率的な走り方について調べる。 (復習) 効率的な走り方についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	○走の運動遊び・陸上運動 「障害物走・ハードル走」の知識・技術を身につける。	演習 (体育館)	障害物走・ハードル走の指導内容および要点を理解している。	(予習) 障害物走・ハードル走の内容を調べる。 (復習) 障害物走・ハードル走の要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	○走の運動遊び・陸上運動 「障害物走・ハードル走」におけるグループ学習について学ぶ。	演習 (体育館)	障害物走・ハードル走の指導内容および要点を理解している。	(予習) 障害物走・ハードル走の教材を調べる。 (復習) 障害物走・ハードル走の教材の要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	○ボール遊び・ボール運動 「ゴール型ゲーム」の知識・技術を身につける。 ・ポートボール ・バスケットボール	演習 (体育館) グループワーク	ポートボール・バスケットボールの指導内容および要点を理解している。	(予習) ポートボール・バスケットボールの内容を調べる。 (復習) ポートボール・バスケットボールの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○ボール遊び・ボール運動 「ゴール型ゲーム」の知識・技術を身につける。 ・タグラグビー ・フラッグフットボール	演習（体育館） グループワーク	タグラグビー・フラッグフットボールの指導内容および要点を理解している。	（予習）タグラグビー・フラッグフットボールの内容を調べる。 （復習）タグラグビー・フラッグフットボールの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	○ボール遊び・ボール運動 「ネット型ゲーム」の知識・技術を身につける。 ・ソフトバレーボール	ソフトバレーボールの指導内容および要点を理解している。	演習（体育館） グループワーク	（予習）ソフトバレーボールの内容を調べる。 （復習）ソフトバレーボールの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	○体づくりの運動 「なわとび」の知識・技術を身につける。 ・ダブルダッチ	演習（体育館）	なわとびの指導内容および要点を理解している。	（予習）ダブルダッチの内容を調べる。 （復習）ダブルダッチの要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○体づくりの運動 「なわとび」の知識・技術を身につける。 ・ダブルダッチ（グループ）	演習（体育館）	ダブルダッチの指導内容および要点を理解している。	（予習）グループ発表の内容を考える。 （復習）グループ発表の内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	○体づくりの運動 「なわとび」の知識・技術を身につける。 ・ダブルダッチ（グループ発表）	演習（体育館）	ダブルダッチをグループで発表できる。	（予習）ダブルダッチの技のポイントを調べる。 （復習）ダブルダッチの発表を振り返り、要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	○運動会 「運動会」の知識・技術を身につける。 ・運動会の企画	演習（体育館）	運動会の指導内容および要点を理解している。	（予習）運動会の内容を調べる。 （復習）運動会の内容の要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	○運動会 「運動会」の知識・技術を身につける。 ・運動会を運営	演習（体育館）	運動会の運営ができる	（予習）運動会の運営のポイントを調べる。 （復習）運動会の運営を振り返り、要点をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力